

チャドルと 生きる

The Circle

ヴェネチア国際映画祭 金獅子賞

国際批評家連盟賞、ユニセフ賞、OCCIC賞 スペシャル・メンション、
セルジオ・トラサッティ賞

第1回東京フィルメックス特別招待作品

監督・製作・編集：ジャファル・パナヒ キャスト：フレシテ・ザドル・オラフアイ、マルヤム・バルウィン・アルマニ

脚本：GAOQ アンタルーフ 配給/宣伝：キョウエイ・コミュニケーションズ・キネマ 協力：ナース・エンターテインメント <http://www.gaganet.jp/> GAOQ

© 2000 a production of JAFFAR PANAHI FILM PRODUCTIONS (iran), MIKADO - LUMIERE & CO. (japan)

路傍の野花のように、

女たちはチャドル[ベール]で身を隠し、静かに生き抜いた。
終わりなき運命のサークル。

ヴェネチアは、その真実に震えた。
金獅子賞グランプリ。
全世界 30ヶ国以上で絶賛の嵐。

イラン本国では上映が禁止された問題作、
遂に日本公開。



パナヒ監督は言う。「イランでの上映を実現するまで、私にとってこの映画は終わらない。」

ヴェネチア国際映画祭で金獅子賞、国際批評家連盟賞、
ユニセフ賞、OCIC賞スペシャル・メンション、
セルジオ・トラサッティ賞の栄冠に輝いた世紀の問題作!

『白い風船』などの現代イラン映画の巨匠ジャファル・パナヒ監督。『チャドルと生きる』は『桜桃の味』のアップス・キアロスタミ、『カンダハール』のモフセン・マフマルバフ等と並び称されるパナヒ監督がイランの首都、テヘランを舞台にイスラム社会を鋭くえぐる問題作である。

パナヒ監督が現代イラン社会において女性がさらされる困難や厳しい現実をリアリティと詩情あふれる映像で描き国際的に高く評価され、ヴェネチア国際映画祭で金獅子賞ほか、様々な賞を受賞。過酷な運命に対して懸命に生きようと努力する女性達の姿を暖かい目で描き、見る者の心を強く捉えて離さない。

チャドル[ベール]とともに生きるイランの女性たち

イランの首都テヘランでまた新しい生命が誕生した。喜ばしいはずなのに、産婦人科の廊下で慌てふためく妊婦の母親。出産前の検査では男の子が生まれるはずだったが、生まれてきたのは女の子。「男の子でないと離婚されてしまう!」と嘆く女性の姿は現実のものである。警察官の姿を目にするたびに逃げ惑い身を隠す、刑務所から仮釈放された若い女性たち。長距離バスに乗ろうとするが、身分証明書なしでは嘘をつかなければ乗車券も買えない少女。故郷を目指す少女の傷い願いは叶うのか…

女性たちを見守る「白い風船」のパナヒ監督の暖かい視線

主人公の女性たちはすべてチャドル(ベール)に身を包み、タバコも旅行も許されない決して平等とは言えない厳しい社会の現実の中で生きている。しかし、これは映画の中だけではなく、現代のイラン社会に生きる女性すべてに起こり得る現実である。その中でも必死に生き抜こうとする女性たちをそっと見守るパナヒ監督。これから大人へと成長する子供たちの将来を案じてこの作品を創ったというパナヒ監督が彼女たちを見る視線は子供たちを見るかのように暖かい。そしてそのエピソードの積み重ねと卓越した手法により、主人公たちに降りかかる^{ザク}の円のように連続する困難と社会の抑圧の構造を浮かび上がらせたのだ。彼女たちは^{ザク}円の中で生き抜こうと、または脱出しようと健気に歩き続けるが、最終的に彼女たちが行き着く場所とは…

全世界30ヶ国以上で絶賛の嵐

監督のジャファル・パナヒは『オリーブの林をぬけて』などのキアロスタミ作品で助監督を務め、『白い風船』で1995年カンヌ国際映画祭でカメラ・ドール賞、国際映画批評家連盟賞、NY批評家協会賞の外国映画賞、東京国際映画祭ヤングシネマ・ゴールド賞を受賞。本作では2000年ヴェネチア国際映画祭で金獅子賞をはじめ、国際批評家連盟賞、ユニセフ賞、OCIC賞スペシャル・メンション、セルジオ・トラサッティ賞を受賞。第1回東京フィルメックスにも特別招待作品として選出される。躍進を続けるイラン映画界において、今最も注目されている監督である。

本作は全世界30ヶ国以上で上映され絶賛されているものの、女性の問題に触れることさえ許されないイランの政治情勢により、いまだにイラン本国では上映許可がおりておらず、製作時には映画製作自体を禁じられるまでに至った。

チャドルと生きる

The Circle



チャドルと生きる[原題: The Circle]

2000年/イラン映画/カラー/1時間30分

ビスタサイズ/ドルビーSR

監督・製作・編集: ジャファル・パナヒ

キャスト: フレシテ・ザドル・オラファイ

マルヤム・バルウィーン・アルマニ

脚本: カンパジア・バルトヴィ

撮影: パラム・パタクシャニ

美術: イラジュ・ラミンファール

録音: メーディ・デジュボディー

提供: GAGA アジアグループ

配給・宣伝: ギャガ・コミュニケーションズ Kシネマ

協力: ナド・エンタテイメント

<http://www.gaga.ne.jp>

GAGA

© 2000 a production of JAFAR PANAH! FILM PRODUCTIONS (Iran),

MIKADO - LUMIERE & CO. (Italy)

有楽町で映画の天使を見つけよう『第3回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX 2002』12月1日(日)~12月8日(日)まで 有楽町朝日ホール、銀座シネ・ラ・セットにて開催 公式サイトではこれまでの映画祭に参加したゲストのインタビューや今年の最新情報をUP予定 今すぐアクセス! www.filmex.net

ヴェネチア国際映画祭 金獅子賞受賞



プレゼント・新作情報満載 登録してお得な情報をゲット!!

GAGA
GAGA オンラインニュース
ON LINE NEWS

1 <http://www.gaga.ne.jp/>へアクセス

2 MAILNEWSをクリック

3 必要事項を記入し登録!

絶対
発信中!

10月26日(土)よりロードショー

☆前売券(1500円)は近日発売予定

☆シネフェスタ独自の週3回のサービスデー

①毎週月曜: 男性1200円 ②毎週水曜: 女性1000円 ③毎週金曜: 女性1200円

地下鉄動物園前⑤出口フェスティバルゲート7F

動物園前シネフェスタ4

☎06(6647)7188 www.cinefesta.com

<各回入替制>上映時間はお問い合わせ下さい。